

WE LOVE SOCCER!

～柏レイソルの北嶋秀朗選手 がベイタウンにやって来た

1月16日(日)、取材に訪れた打瀬小学校グラウンドでは、フロインツの子どもたちがサッカーの練習を行っていました。フロインツは鈴木哲也コーチが主宰するサッカークラブ「打瀬SC」「幕張南SC」「幕張SC」の合同チーム、ドイツ語で「友だち」という意味だ

そうです。ちなみに打瀬SCの子どもたちは幼稚園児から6年生まで62名。それぞれの学年に分かれての練習が始まりましたが、なぜか練習を見に来ている保護者のお父さんお母さんがそわそわしています。

それもそのはず、きょうは鈴木コーチのかつての教え子で、現在Jリーグの柏レイソルで活躍中の北嶋選手が教えに来てくれるというのです。北嶋選手は市立船橋高校で2度の全国制覇を果たし、昨年のナビスコカップでは所属する柏レイソルのタイトル獲得に貢献した注目のストライカーです。実は練習に訪れるのは今回で2度目ですが、前は今ほど騒がれておらず、近所のサッカーのうまい優しいお兄さんという印象だったそうです。

カメラを持ったお母さんたちの動きがあわただしくなったと思うと、北嶋選手の到着です。

ジャージを着た背の高い青年は鈴木コーチとあいさつを交わすと、すぐに子どもたちの練習に参加。子どもたちの動きに合わせて、所々でボールを持ちパスを出します。北嶋選手がボールを持つと、ボールが面白いように弾んだり転がったり飛んだり…まるで生きているように。一緒にボールを追っている子どもたちはそれを肌で感じているはず。「コーナーキック、チョー曲がった！すごい」「ボールさばきを見習いたい。5人でボールを取りに行ったらどれもない、すごい」と子どもたち。

お父さんたちのサッカーチーム「パパス」と中学生との試合にも参加、気持ちに体がついていけないお父さんたちに混じってJ孤軍奮闘。応援のお母さんたちからもいつにない(!?)黄色い声援が飛



び、得点こそなりませんが、試合後のお父さんたちの顔は晴れやかでした。「使ってもら道具がお粗末なので、せっかくいいパスをもらっても追いつけませんでした」「足がさっと出てくる、ボールが足に吸い付いている感じ!」「こんな体験ができる子どもたちは幸せです」

鈴木コーチは子どもたちに「北嶋選手をテレビで見る手の届かない人だと思わないで、自分も頑張ればなれるサッカーの目標にしてほしい」と言いました。北嶋選手も小学生時代コーチに言われた通りにリフティングの練習から始め、そこから「今」があると言います(ちなみにリフティングは小4で1000回、今は体力が続く限りいつまでもできるそうです)。

「きょうは、みんなボールを積極的に追っていて一生懸命取り組んでいるという印象を受けました。大切なのはサッカーが好きだという気持ち、大きくなってもその気持ちを忘れないでサッカーをやってほしい」と北嶋選手からのメッセージがありました。

最後に今年の目標は?

「チームでレギュラーに定着することです。外国人選手も入ってきますから。それとオリンピック代表に選ばれるように頑張りたいと思います」とのことでした。ありがとうございました。

男の子に混じってボールを追っていたサッカー少女、ボールを蹴る前に転んでしまったお父さん、北嶋選手のボールを見事にカットしていた中学生、寒いなか声援を送っていたお母さんたち…半日取材をしてみて、それぞれのサッカー大好きという気持ちが伝わってきました。サッカーには縁がないという方も、一度打瀬小のグラウンドに足を運んでみてはいかがでしょうか。

(つい取材を忘れてしまいそうになったサッカー好き記者:佐藤)

幼稚園児・新一年生募集!

打瀬FCでは、元気な子どもたちをいつでも募集しています。体験入部もOK! 気軽にコーチに声をかけて下さい。連絡先: 7番街田中(Tel:211-1779)



子どもたちの質問に丁寧に答える北嶋選手。左は鈴木哲也コーチ。

華料理「バーミヤン」の説明会に行ってきました。
連合会の働きかけにより、去る 1 月 16 日の午前 10 時から清水建設の現場事務所で、バーミヤン・三井・清水建設・千葉県企業庁の方々と住民約 30 名が集まり開かれた出店計画の説明会報告です。

(株)すかいらくグループの中華料理レストラン「バーミヤン」は、リンコスの上階に客席 120 席、現リンコス屋内駐車場および企業庁屋外駐車場に約 30 台分の駐車スペースを確保し、営業時間午前 10 時から深夜 2 時までの予定で 2 月 29 日オープンを目指して準備中です。

99 年 12 月号で出店計画にふれたベイタウンニュースは以下の 3 点への対応を求めました。

- 営業時間は 11 時から最小限の調整範囲
- 核店舗の駐車場管理の徹底と周辺路上駐車問題への対応
- 夜 10 時以降の未成年者およびナンパ族・暴走族の入店拒否

営業時間の調整をお願いしていた理由は、ベイタウン周辺の治安や風紀の乱れの懸念があり、業者側には、住んでいる住民以上には危機意識が薄いように感じられたからです。バーミヤン側の説明では、「ベイタウンニュースの記事等から住民側の懸念は十分理解しているが、営業時間に関しては全国 302 店舗が例外なく同じ時間帯で営業している関係上調整は難しい。心配されている事柄に関しては、事が起きてからの対応ではなく、起こさない対応をして行く。」と明確に約束してくれました。

駐車場の管理と周辺路上駐車問題へは、今後はリンコスが入っている建物を維持・管理している、三井不動産ならびに清水建設が全責任を持って対応すると確約しました。

夜 10 時以降の未成年者への対応は、未成年であることが明らかかな場合はもちろん入店を拒否し、暴走族等のような近隣周辺に迷惑をかける人は「お客さんとは見えない」、つまり入店拒否したり、駐車場からの排除・警察への通報などを責任をもって行くとバーミヤンの担当者が明快に説明してくれました。

なお、「口答での約束だけでは不安だ!」との住民の声に三井・清水建設が責任を持つ旨を重ねて表明し、今回の話し合いの結果を両社から各街区に掲示する予定です。

説明会の質疑応答中、新しい街区の方から、「現在街の人口は連合会に属していない数の方が多いので今回の出店計画のような説明や交渉ごとが連合会のみを窓口に行っているのはいかがかなものか、また、連合会からの広報(情報公開)も足りないのではないか」との発言がありました。説明会の開催趣旨とは違うので、その場ではあえて発言しませんでした。これは考えてみるべき意見だと思います。

まずは交渉事の窓口の件ですが、たしかに現在街の人口配分は連合会に属していない割合が多いことは事実ですが、それは人数の問題であって現在の幕張ベイタウン自治会連合会に登録していない数が方向性や思考を表しているのではないと思います。連合会に属していない人々が幕張ベイタウン自治会連合会に加入

しなければならないと言っているわけではありません。連合会とは決して住民サービス機関ではないし、住民有志がより良い街づくりを目指して行っているボランティア活動の集合体だから、新しい街区で主張や目的意識を持っている方々にはぜひともまずは街区の自治会を立ち上げ、必要に応じては新しい組織を作ってもらいたいのです。街の人口が増えニーズも多様化している現状では、専従者や有給者は一人もいない現在の連合会だけが重荷を背負うには負担が重くなっているのかも知れません。

次に広報の件ですが、情報は与えられるものではなく必要に応じて求めるものだと考えます。現在ベイタウンには連合会や街の情報を伝えるためにベイタウンニュースがありますし、2 番街の空き店舗には連合会の掲示板が設置されています。そしてベイタウンのホームページにはベイネットの有志の方々の協力で街の情報が常時掲載されています。情報の量や質の面からはでき過ぎた街だと考えています。自負し過ぎでしょうか?

最後に今回の説明会ではいろいろな事を感じました。デベロッパーは所詮建物を作り売るのが仕事ですから、それ以上の事にはあまり熱心ではありません。その温度差を埋めるには住民側の強い声とそれに伴う活動が必要です。

説明会を埋めた、ほとんど新しい街区の住民の方々に熱意を感じ、うらやましく思いました。その熱意が街の発展と共に継続的に受け継がれて行く事にベイタウンのキーワードがあるような気がします。

【金】

企業庁だより マリーンデッキの供用開始のお知らせ

千葉県企業庁幕張新都心建設課

住宅地区連絡デッキを公募により「マリーンデッキ」と命名していただきありがとうございます。デッキの工事につきましても皆様方のご協力により順調に進み、平成 12 年 3 月 1 日(水曜日)に供用できる運びとなりました。当日、関係者による開通式(下記参照)の後、午前 11 時から一般のご利用が可能となります。なお、海浜幕張公園の一部につきましては、工事工程の関係で供用開始後の完成となりますのでご了承下さい。



開通間近のマリーンデッキ(1 月 22 日撮)

このデッキは、ご高齢の方や体の不自由な方々が利用できるように、エレベーターとスロープを整備しておりますが、「自転車に乗車したままでの通行は禁止」です。自転車を利用される方は、自転車を押しての通行をお願いします。

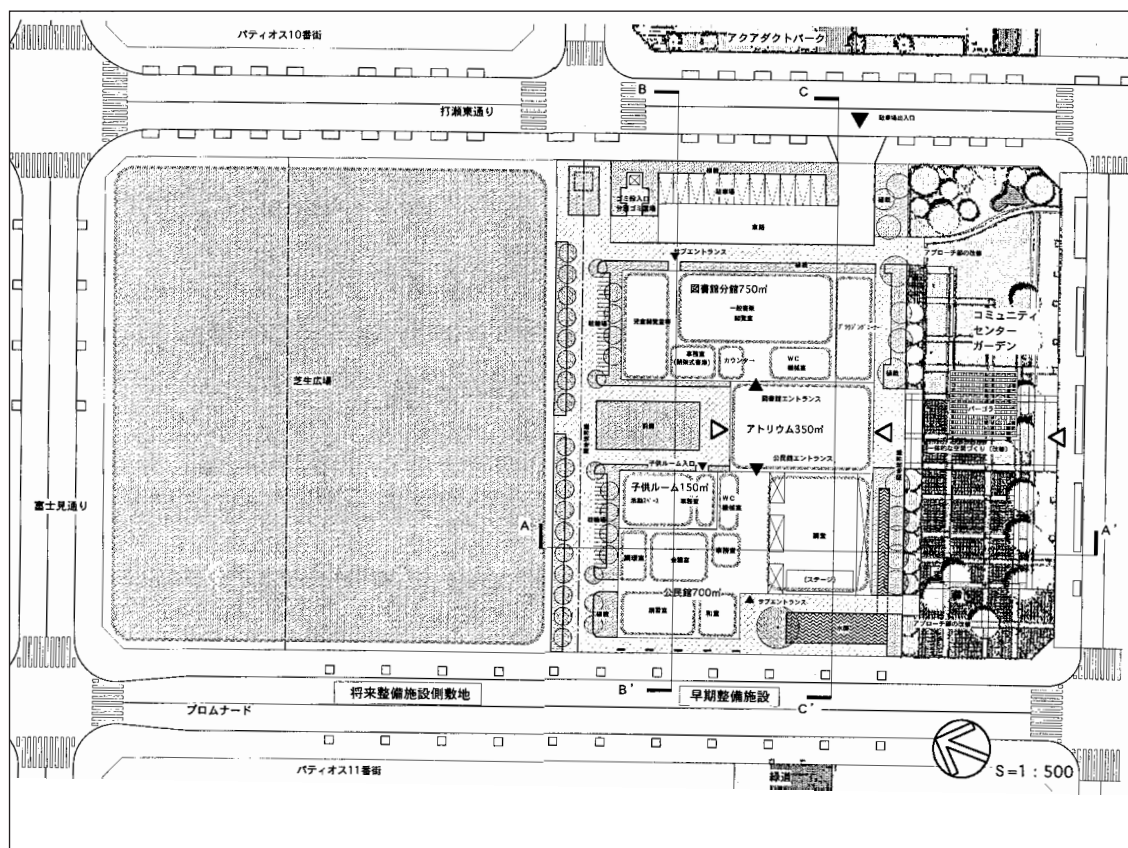
開通式のお知らせ

1. 日 時 平成 12 年 3 月 1 日(水) 午前 10 時
2. 場 所 マリーンデッキ住宅地側
3. 参加者 事業者、将来施設管理者、公園管理者、工事関係者、施設設計者、計画設計調整者(曾根幸一氏)、自治会関係者、橋名命名者(上杉真理子氏)
4. 式内容 事業者挨拶、橋名命名者への花束

コミュニティコア建設計画、いよいよ設計段階へ

コミュニティコア建設計画がようやく最後の局面を迎えようとしています。建設する千葉県企業庁、運営・管理する千葉市、それに住民代表の3者で、昨年10月から進めてきた基本計画づくりが2月中にも終わる見通しで、あとは基本計画の内容を受けた設計作業を残すばかり。企業庁ではすでに設計者候補を選び出す作業に入っていて、年度内をメドに絞り込みをかけて設計者を最終決定する予定です。

基本計画は、近くスタートする設計作業の枠組みになるもの。設計者は、ここで示された敷地利用の考え方や施設整備の方針に基づいて作業を進めていくことになります。計画のポイントは下に示したとおり。①敷地を5番街側と12番街側とに分けたうえで、第1期は12番街側で対応していく②郵便局はもともと入居を予定していたが、早期開局を前提に沿道店舗で受け入れていく一などの点を打ち出しています。



これまでは「計画づくり」とはとっても、言葉だけのやり取りで作業を進めてきたこともあって、どんな施設が望ましいのか、住民間でもイメージを共有しにくい状況でした。設計作業に入っていけば、図面という目に見える形でより具体的なイメージを共有できるので、だれもが関心を持ちやすくなるはず。これからは多くの方の参加をお待ちします。

コミュニティコア研究会 茂木

コミュニティコア建設計画のあらまし

＜第1期は12番街側に建設＞

上の図は、第1期の配置イメージを示したものです。建設予定地は12番街側と5番街側との二つ。第1期は12番街側です。上の図では一例として、図書館分館や公民館、子供ルーム、アトリウム、をそれぞれ予定地内に収めようとするとうなるかを表しています。あくまでイメージの段階で、実際どうなるかは設計の段階で決まっていきます。

＜12番街側の緑地は改修も＞

12番街側に一足先にできた緑地「コミュニティセンターガーデン」はもともと、あとから手を加える前提で整備したものです。県企業庁ではコアの建設に併せて、建物との一体感

が出るように改修する考えです。図では、コアへのアプローチを整備したり緑地内にパーゴラを設けたりすることで、建物と緑地とを一体的に使えるように造り替えています。

＜5番街側の駐車場は移設＞

残る5番街側はどうなるのでしょうか。ここは第2期の敷地となりますが、いつ、なにをつくるかは、まだ白紙の状態です。この先しばらくは、なににもできない恐れさえあります。県企業庁はここに設けた駐車場を移設する考えですが、その時期に関しては、予算との関係を理由に明言をさけています。住民の中からは「街のど真ん中にいつまでも駐車場が残るのは好ましくない」との声が出て

います。

- ▼施設構成 図書館分館（広さ 750㎡）
公民館（広さ 700㎡）
子供ルーム（広さ 200㎡）
アトリウム（広さ 350㎡）

▼全体規模 2000㎡程度

▼完成予定 2001年度末

▼総工事費 約8億円

▼設計者 未定（選定作業中）

※ 図書館では「一般書架・閲覧室」「ブラウジング（新聞・雑誌）コーナー」「児童書架・児童閲覧室」を想定している。

※ 公民館では「講堂」「講習室」「調理室」「和室」「会議室」を想定している。

※ 当初予定していた郵便局は結局コアには入らず、沿道店舗になること。



楽しい“かるがも会”発足

“かるがも会”には、現在20代から70代まで20名の方が参加しています。寒いこの冬は、ボランティアの編み物の先生をお招きして、年代をこえた楽しいおしゃべりをしながら、毛糸の帽子を編んでいます。暖かいかるがも館には、子供のおもちゃなどもあり、小さなお子さま連れのお母さま方も無理なく参加できます。季節に応じて色々な企画を予定しておりますので、興味のある方は下記連絡先にお問い合わせ下さい。

活動日：毎週第2、第4火曜日、13:00～16:00

場所：かるがも館

参加費：無料

連絡先：山口 (296-7887)、旦 (211-0189)、山北 (211-0645)

「新春茶話会－雑談の中から活発な意見が」

さる1月22日(土)パティオス3番街集会所にて、自治会連合会の有志主催の新春茶話会が行なわれました。当日は天気にも恵まれ、暖かい陽射しの中、ベイタウン在住の60歳以上の方が約50名参加され、13:30の開会から16:00の閉会まで盛り沢山の内容の茶話会でした。開会の言葉・挨拶、乾杯の音頭、民生委員の青木さんの「千葉市の高齢者福祉対策について」のお話につき、GPW在住の詩吟講師金田さんの詩吟披露では、「呼び水を 入れて涌き出る 若水を 夫の墓に 注ぎ浄めぬ (18番街の壺岐俊子さんの短歌)」や、小中学校時代の故郷の情景が浮かぶような新体詩、島崎藤村の「小諸なる古城のほとり」、宮澤賢治の「雨ニモマケズ」を吟じる朗々たる声に、みなさん聞き惚れていました。

この後休憩をはさんで、コミュニティーコアの話やサークル活動の話になったのですが、「公民館にシニアつどいの部屋が欲しい。」「施設の中に銭湯がほしいなあ。」など雑談の中から活発な意見がはじめ、最後には「ヤングシニア(60代)からのお願いです。先程の短歌を聞いて涙しました。私は今まで一所懸命仕事ばかりしてきて、そういう人生の中の思いを表現する余裕がありませんでした。ぜひ先輩方にいろいろ教えていただきたいです。」というお願いも出て、この日の参加者の中から「シニアクラブ設立準備委員会」が結成されました。



詩吟教室のお知らせ
新春茶話会で、詩吟披露された金田虎岳さんの詩吟教室です。
場所：GPWコミュニティールーム
時間：毎週土曜日午後2時～4時
(見学者自由)
連絡先：岳秋会 金田虎岳 (273) 0887

編

■週末の街に人が増えてきてにぎやかになってきました。先月号でお知らせした駅前周辺の年内整備計画が完了すれば、もっと人出が増え駅前の施設が増える事と思われます。一番嬉しい事は、3月にはベイタウンと海浜幕張駅をむすぶマリンデッキがやっと開通し、駅までの時間が短縮できそうなことです。

でもあの傾斜を自転車で一気に昇る事ができるでしょうか？(失言！企業庁は自転車に乗ったままの通行は禁止しています。)

企画：#3-220 号金一剛 (T & F211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp)

■今回の新春茶話会のプチ展覧作品について、連合会田村会長にお聞きした所「ちょっと声をかけただけで、こんなに素晴らしい作品が集まったんです。」との事!!

細かい絵の描かれたトールペインティング、瑞々しい水彩画、迫力ある写真・俳画・生け花、人生を詠んだ短歌…本当に、素晴らしい才能のきらめきに驚いてしまいました。これらの作品は、2番街の空店舗に展示されていたのでご覧になったかたも多いと思います。また、機会があれば、新作が見たいと思いましたがいかがでしょうか。

記者：公園東の街 浜田貴代子 (atmark@pop01.odn.ne.jp)

■打瀬SCの小4チームは強豪そろいの千葉市内の大会でベスト4に入る実力派だとか。また千葉市がワールドカップのキャンプ地に名乗りをあげるなどサッカーはますます盛り上がりそう。今回の取材は、寒い中頑張った甲斐あって1面の北嶋選手の写真、近來まれにみる自信作と自負しています。

タウンスケッチ記者：#3-310 号佐藤則子 (T & F211-0090)

■今回、WHO'S WHO 第1回の担当として、ビルさんに取材しました。とっても気さくなだけでなく、芝居っ気や音楽の才能もあり、また毎日のように新習志野のプールとジムでエクササイズするスポーツマンでもあります。

ベイタウンには本当に多才な人が多いので、これからもこのシリーズの取材が楽しみです。さて、次は誰に白羽の矢を立てようか…

編集：#1-210 号板東司 (T & F211-0289/tbando@dpu-netsurf.ne.jp)

■打瀬小は将来デイケアセンターにも使えるように設計してある、と設計を手がけた建築家が言っています。ニュータウンでは年を経ると、学校がいなくなる一方で高齢者がふえるのが常。そうした事態もはじめてから考えに入れて設計したそうです。なるほど。コミュニティーコアでも間もなく設計者が決まり、作業に入る予定です。プロとして、これくらいの配慮ができる人がいいですね。

記者：#7-301 茂木俊輔 (T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■先日、渡辺前打瀬中学校長の小中台中学校へ花壇の様子を見に行ってきた。さすがに先生の手入れはよく行き届いていて、ナノハナ(菜の花)などもベイタウンとは比較にならない程立派に育っていました。最初はベイタウンは潮風が強くてうまく育たないのだと、花の不出来を自然のせいにしていましたが、どうもそれだけではないようです。花づくりといっても奥は深く、結局は土づくりがすべてではないか、そんなことが最近になってやっと分かってきました。

今、二丁目公園の花壇もナノハナが盛んに咲いています。やがて打瀬中学校の回りでもナノハナが満開になり、卒業/入学の季節にベイタウンの街はナノハナの黄色でつつまれます。

技術：#10-612 松村守康 (T&F211-6853/m-matz@mxq.mesh.ne.jp)

記

MAKUHARI ミルキーガールズ全国優勝

努力すれば必ず報われる

ミルキーガールズは、サークル結成 14 年目を迎えます。チームのモットーは「明るく、楽しく、元気よく」です。千葉県予選・関東予選を勝ち抜いて、1/23 にあこがれの日本武道館で開催されたマーチングバンド・バントワリングコンテスト全国大会の小学生部門に出場し、金賞を受賞し全国一位に選ばれました。武道館は大きくて立派で、そのフロアに立っているだけで幸せでした。緊張のあまり、前の晩から眠れずお腹が痛くなった子どもや、当日の朝の練習でミスばかり繰り返していた子ども等、とにかく最後の最後までハラハラドキドキの連続でしたが、本番の音楽がなって演技が始まったら、いつもの練習の成果がでてのびのびと笑顔で踊り、6 人の審査員の先生方全員に「元気があってよかった。」と誉めて頂きました。たった 5 分間の演技の為に、24 人の子どもたちは半年間本当に良く頑張りました。『努力すれば必ず報われる』という事をわ



かってくれた事、『やれば何でも出来るんだ』と自信をつけてくれた事が一番の収穫です。チームには 3 人の中学生がいますが、今回小学生部門での出場を選んだため、出場できず、半年間いろんなお手伝いや小学生の指導をし、当日も裏方に徹してくれました。本当は自分たちもコンテストに出たいという気持ちをおさえて、一生懸命みんなの応援をしてくれました。演技が終って、感激で涙を流している中学生を見た時、本当に嬉しかったです。一位になった事はもちろん嬉しいですが、こんな優しい生徒がいるチームに成長した事、そして何よりも、いつも子どもたちを励まし続けてくれ、応援してくださった生徒のご家族の方に少しでもお返しすることが出来た事が何よりも大きな喜びです。これからも地域の皆様に喜んでもらえるような活動が出来れば幸いです。イベント等があれば、喜んで参加させていただきますので、宜しくお願いいたします。

(MAKUHARI ミルキーガールズ 夏間 久子)

ベイタウン WHO'S WHO

読者アンケートやベイタウンサポーターの集いでも「ぜひやって欲しい」という声の多かった、ベイタウン WHO'S WHO。いよいよ掲載開始です。ベイタウンに関わる有名人、ユニークな活動をしている人、他の人とはちょっと違ったおもしろい経歴を持っている人、などを取り上げ、この誌面で紹介していきます。定期掲載とはならないかも知れませんが、人気コーナーとなるよう、頑張って取材します。

さて、記念すべき第 1 回は、16 番街で子供向け英語教室の「JOYFUL ENGLISH」を主宰している、ビルさんです。

「ビル (Bill)」というのは、英語圏で William という名前の通称で、同じ名前を持つ人としては、米国大統領のビル・クリントンさんがいます。ビルさんのフルネームは、William Brooks さんと言います。

さて、ビルさんは米国ニューヨーク州ロングアイランド出身で、当年として 34 歳です。奥様はあちらで知り合った日本人で、9 年前に「奥様の実家の日本を 1 度は見てみたい」とこちらに来て以来、日本がたいへん気に入って住み着いてしまったとのことです (現住所は稲毛です)。日本には四季があり、特に、この辺りは海も近く、出身のロングアイランドと非常に似ているので、外国にきた感じがしないそうです。本人は、「米国に戻る気はしない」とまで言っています。

ビルさんのベイタウンでの活動ですが、本業はもちろん「JOYFUL ENGLISH」で英語を教えることですが、毎年 10 月末に子供たちが仮装してこのベイタウンを練り歩く「ハロウィン行列」(本誌 30 号参照。写真下のカウボーイがビルさんです)を開催しています。古くは 97 年冬に打瀬中学校で開催された“ベイタウンファミリーコンサート”の音楽劇で風の妖精役で活躍したビルさんを覚えている方もいるかも知れません。また、時間を見つけては外で子供たちとサッカーを楽しむ姿も見かけられます。



さて、前置きが長くなりましたが、ここでビルさんに登場してもらい、このベイタウンについて語ってもらいましょう。

「記念すべき第 1 号になれて、とてもうれしいです。ベイタウンはとってもフレンドリーな街。皆が街中で良く話し合う。あいさつする。お店の人もおたがひ。他の大きな街にはない、人々との交わりがある。今後、街がどんどん大きくなっていっても、このフレンドリーな雰囲気を保って欲しい。それからこの街に来ておどろいたことは、街の人がみんな英語を話せること。だから、子供たちも英語を話せるようになれば、もっと素晴らしい。私は外を歩くのが好きで、よく 16 番街から 6 番街までの道をぶらぶらしているので、見かけたら遠慮しないで声をかけて下さい。日本語でもオッケーです。」

「ラーメンが大好き、回転すしも大好き」と言う、日本好き、子供好きで気さくなビルさん。街で見かけたら、声をかけて友達になってしまいましょう。

【板東】

このコーナーで取り上げて欲しい人を募集します。投書箱までどうぞ!

サラリーマンの知らないベイトウ

ベイトウに住むサラリーマン世代は働き盛り、朝早く家を出て帰ってくるのは夜遅く。新橋発の深夜バスで毎日帰宅というモーレツなワークホリックも珍しくありません。そんなサラリーマン諸氏に、平日の昼間のベイトウの風景をお見せします。



なのはなクラブ花壇



朝の風物詩登校風景



ベイトウ名物 CM 撮



人気の幼稚園バス



放課後のゲームバトル



ご存じヤンマーのおじさん



都市公団 をよろしくお願いします。



昨年の10月に「住宅・都市整備公団」は「都市基盤整備公団」に変わりました。愛称を公募したところ、3,241通、総数6,427案のご応募をいただき、このほど「都市公団」が選ばれました。

都市における賃貸住宅は、長期的な人口・世帯バランスの維持やまちの活力の持続にとって欠かせないものです。幕張ベイトウが新しい時代の「ふるさと」として未来に誇れるまちでありつづけるよう、これからもお手伝いしていきたいと考えています。

<http://www.udc.go.jp>

かるがも館 からのお知らせ

かるがも館は、幕張ベイトウのPRのために千葉県企業庁と都市公団が共同で運営している暫定施設です。そのうち公団部分を、「サークルスペース」として地域開放しており、地域のサークル活動や打ち合わせ・会議などに、活発に利用していただいています。コミュニティコア建設のため本年秋ごろで閉館しますので、じつは公団内外で移設先を検討しているところです。



都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは

総合募集センター津田沼案内所 TEL:047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは

日本総合住生活（株）千葉支店 TEL:047-277-7371

AS 講座 打瀬中学校の新しい取り組み

地域の方に先生になっていただきました・・・

打瀬中学校では、地域の皆様のご協力を得て、また新しい試みに取り組み始めました。今年度は第一・第三水曜日の午後は授業がありません。その午後の時間を利用して、AS 講座（After School 講座）と呼ぶ生徒対象の課外授業的な学習の時間を設けました。

用意されたいくつかの講座の中から、各生徒が自分の意志で好きな講座を選択し、受講するというものです。

講座を担当される講師の先生には、打瀬中の教員ではなく、地域にお住まいの方々をお願いしました。講師の先生方には、ご自分の得意分野に関することや、長い人生経験の中から培われた技術や技能を生かして、子供たちの興味関心を巧みに引き出しながら、とても熱心かつ丁寧な指導をいただきました。

第 1 回目の講座は、今年の 12 月 15 日（水）、午後 1 時 45 分からの開講式に引き続き、約 2 時間にわたって、8 つの会場（教室およびグラウンド）で行われました。

3 年生は受験時期でもありましたので参加者は少数でしたが、1・2 年生が多数受講しました。各会場では、生徒の熱い眼差しや熱気のこもった取り組みが見られ、地域の方の指導を受け、楽しみながら学習する生徒の様子に大変嬉しくなりました。

参加した生徒の感想の一部をご紹介します。

尚、第 2 回目は、2 月 16 日（水）午後 1 時 30 分から本校にて開講いたします。お時間がございましたら、皆様どうぞ、お出かけになってください。

生徒の感想から

「生け花講座」を受講して

私は生け花は初めてだったのでとても楽しみでした。どんな花かなと思っていたら、かわいい花がいっぱいでした。いっぱいあってどれからやろうか迷いながらやっただけでオアシスがでこぼこになってしまいました。けど何とか完成しました。とても楽しかったので、またやりたいです。

(N 子・M)



「竹細工講座」を受講して

僕は、あまり器用ではなく、竹とか小刀をいじったことも無いのでとてもよかったと思います。竹で僕はぶんぶんごまを作ってとても嬉しかったです。講師の先生にまた、この学校に来て竹細工を教えてほしいと思いました。

(S 男・I)



「中国語講座」を受講して

中国語には、前から興味があったのでとても面白かったです。思ったよりも発音が日本語と似ていてびっくりしました。中国についてのいろいろな話も初めて知ることが多く、楽しかったです。

(K 子・O)



「クラシック音楽の聞き方講座」を受講して

普段あまり聞くことのないバロック音楽を聞けてよかった、講師の先生がクラシック好きになった理由が印象的、クラシックをもっと気軽に聴いてもいいかなと思った。
(M子・S)



「ストリートダンス講座」を受講して

今回ストリートダンスはすごい興味もあつたし楽しかったです。アップ、ダウン・etc・・・あと最後に拍子をとって踊った（ねじれた！？）ものを家に帰ってもやりました。それに先生の上手なダンスも見れたし、本当に良かった。
(M子・O)



「グランドゴルフ講座」を受講して

実際にプレイする前は「3」で入れるなんて簡単だと思っていたけど、実際はとっても難しかったです。でも、講師の先生が一つひとつていねいに教えてくださったのでとても楽しくプレイすることができました。
(D男・M)



「救急法講座」を受講して

応急処置をして、心臓マッサージをして・・・すごい難しかったです。人の命を救うことが難しく一言一言覚えられないくらいたくさんことができました。
(M子・A)



「自分史講座」を受講して

原爆の話や死ぬつもりで生きてきたことなど、本には書いていないことを学びました。体験されたことを直接、生で聞くことができ、とてもすごい体験になりました。
(K子・M)



第1回 AS 講座名一覧

- | | |
|--------------|-----------------|
| ● 生け花講座 | ● 中国語講座 |
| ● グランドゴルフ講座 | ● クラシック音楽の聴き方講座 |
| ● 竹細工講座 | ● 戦争体験・自分史講座 |
| ● ストリートダンス講座 | ● 救急法講座 |